

背景・目的

- 産業廃棄物処理業は、県民生活や県内経済の安定確保に不可欠であり、発災時には災害廃棄物処理の一端を担う等、安定した事業の継続が求められるが、気候変動に伴う大雨等の増加による処理施設の被害や気温上昇による作業従事者の熱中症の増加等が懸念される。
- 産業廃棄物処理業における気候変動適応策の促進を図るため、産業廃棄物処理現場における気候変動影響や課題等について情報収集を行う(令和4年度は収集した情報を踏まえて適応策を整理し、情報発信を予定)。

調査対象・方法・時期

【アンケート調査】(R3.7)

(一社)えひめ産業資源循環協会 協会員:373社

【ヒアリング調査】(R4.1)

アンケート先から5社

調査項目

- ・気候変動の実感(共通設問)
- ・実感し、課題に感じる気候変動影響(収集運搬、積み替え保管、中間処分、最終処分ごとの個別設問)
- ・講じている適応策(〃)
- ・周辺環境への配慮(〃)

アンケート結果概要

回答者概要

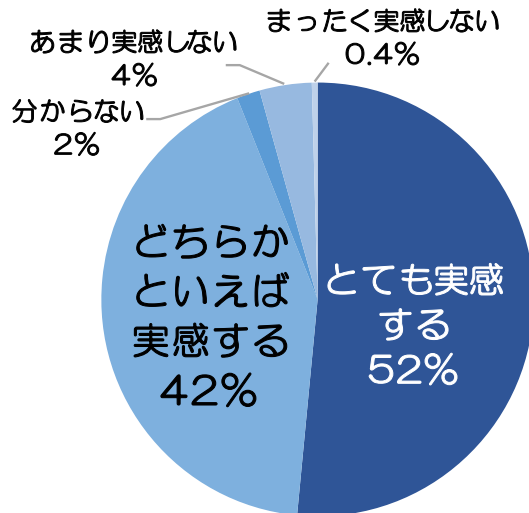
回答数: 231社 (回収率 62%)

【内訳】

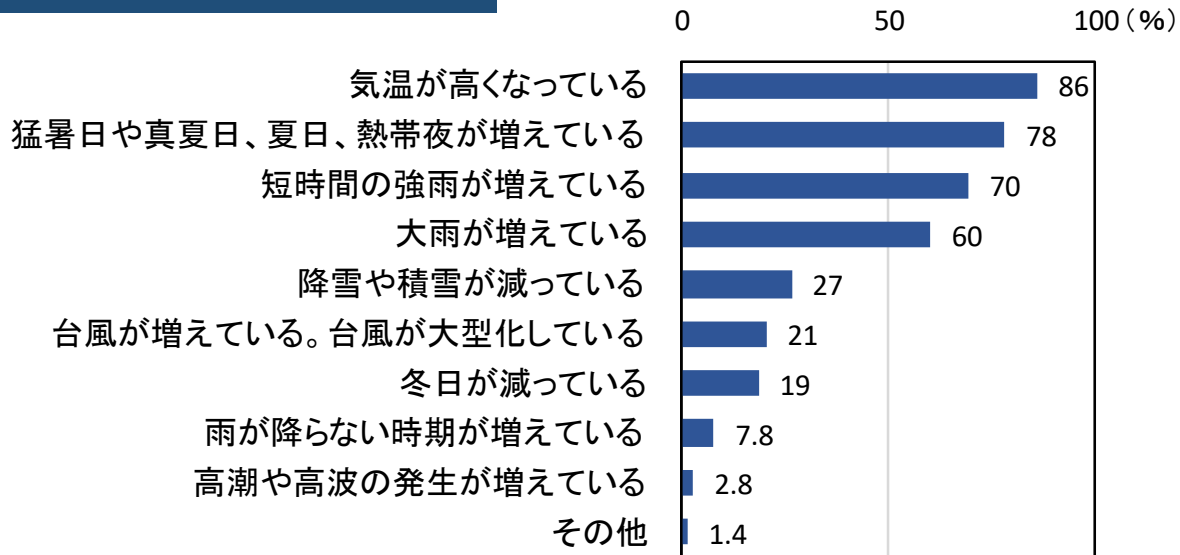
- ・収集運搬: 217社
- ・収集運搬(積み替え保管有): 74社
- ・中間処分: 94社
- ・最終処分: 18社

全社共通設問

気候変動の実感

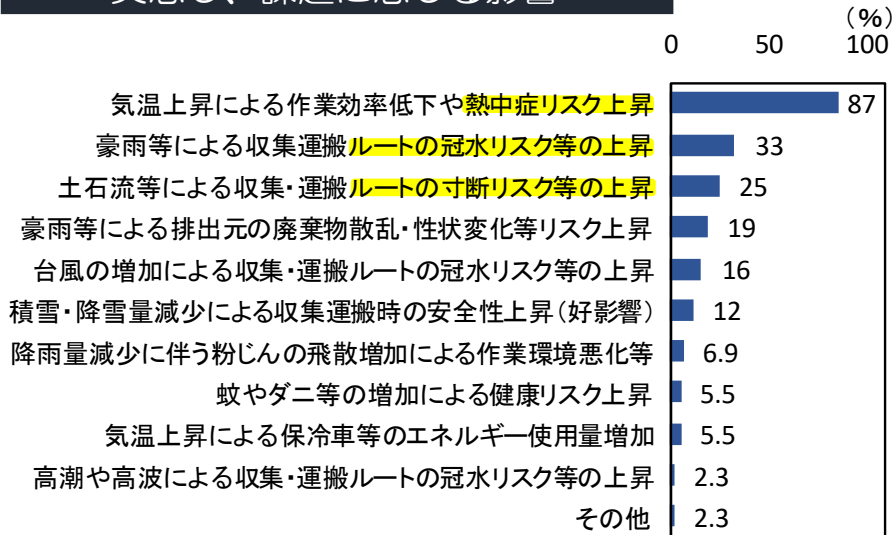


実感している気候変動

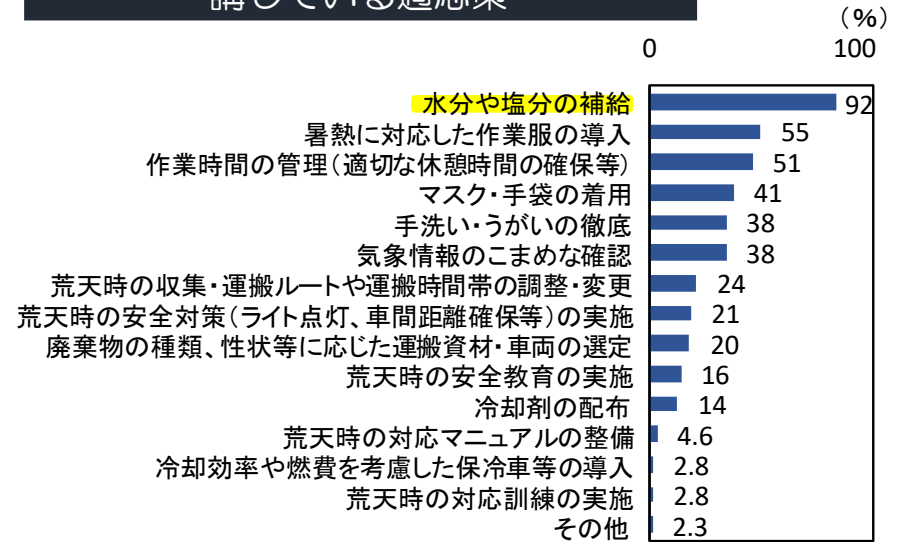


アンケート結果（収集運搬）

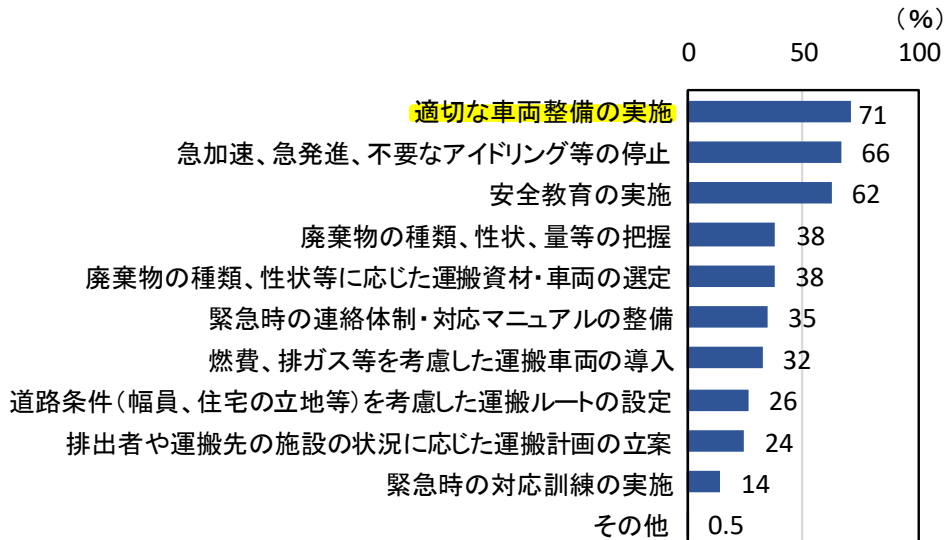
実感し、課題に感じる影響



講じている適応策



周辺環境への配慮

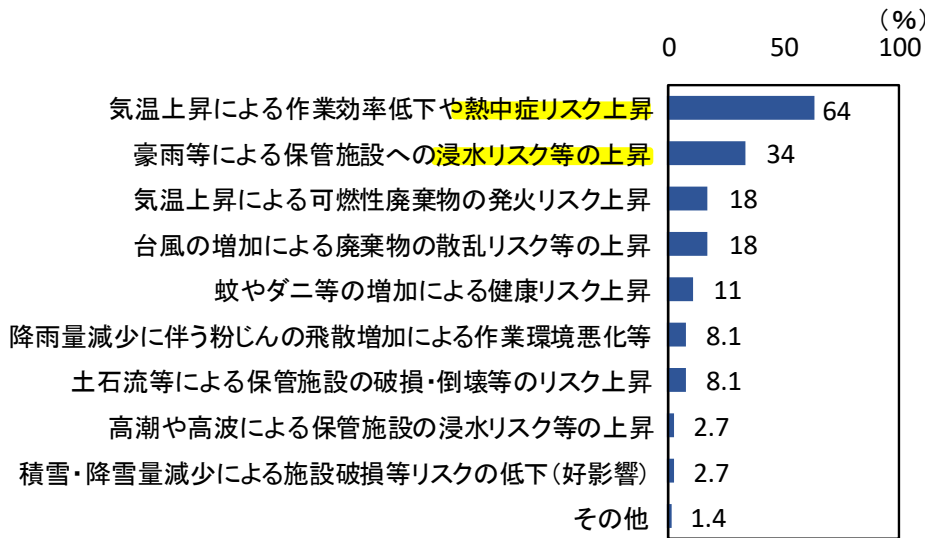


今後実施したい適応策・環境配慮

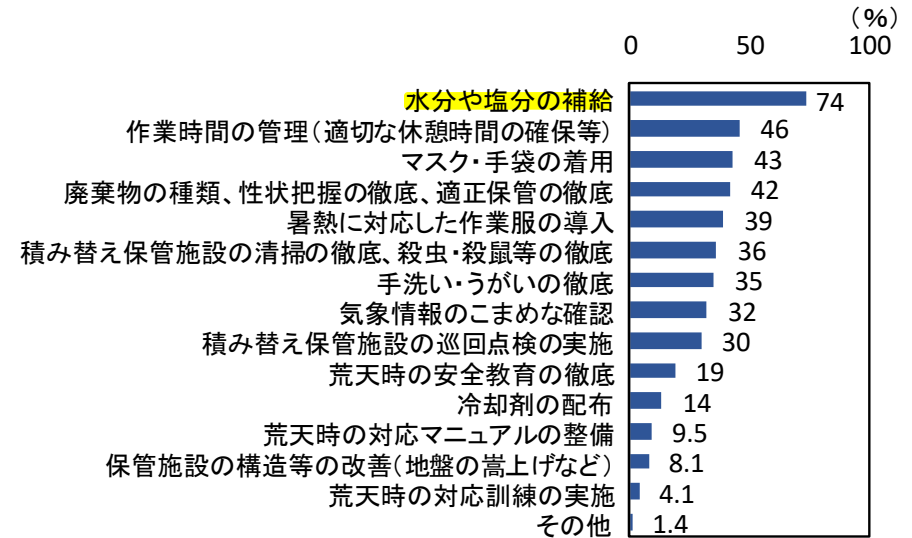
- ・運搬回数の効率化
- ・運搬ルート[※]の最適化
- ・熱中症対策キットの支給
- ・緊急時の連絡・対応マニュアルの整備
- ・安全教育や適切な運搬に関する教育
- ・夏期の粉じん対策

アンケート結果（収集運搬・積み替え保管有）

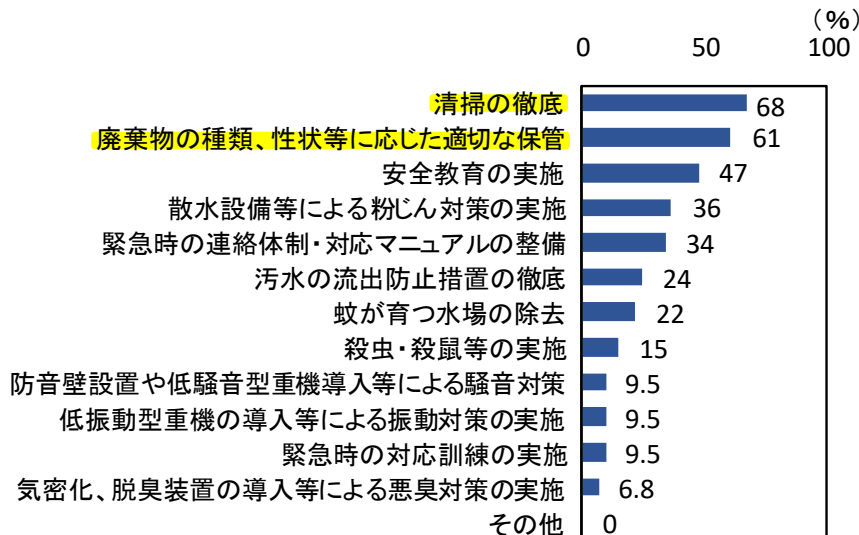
実感し、課題に感じる影響



講じている適応策



周辺環境への配慮

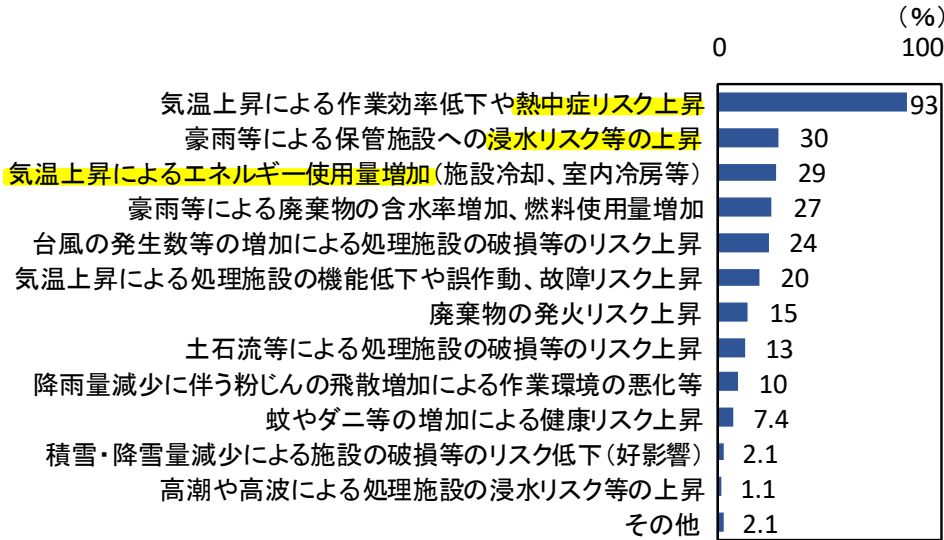


今後実施したい適応策・環境配慮

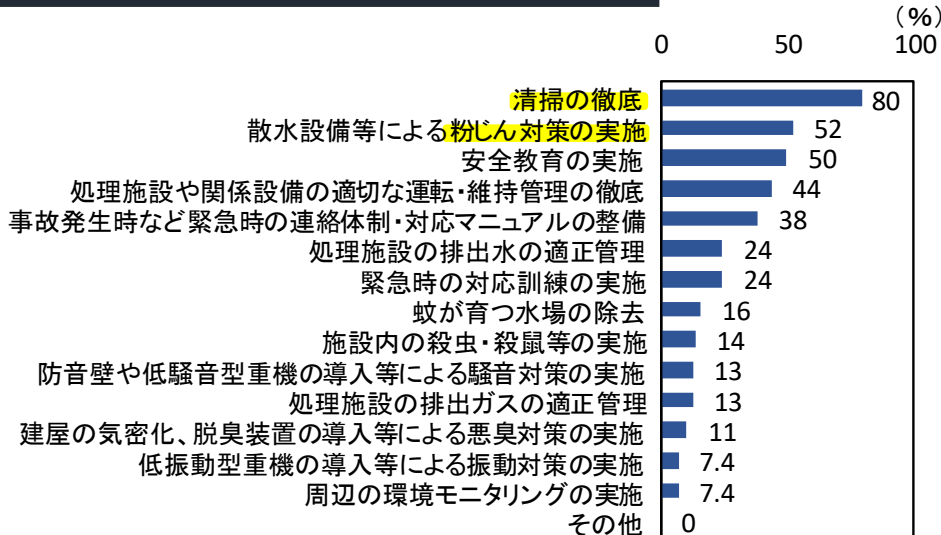
- ・豪雨・多雨に対する排水対策
- ・周辺への飛散の気配り
- ・気温上昇による発火リスクを防ぐため、早期搬出
- ・シート等による雨水侵入対策

アンケート結果（中間処分）

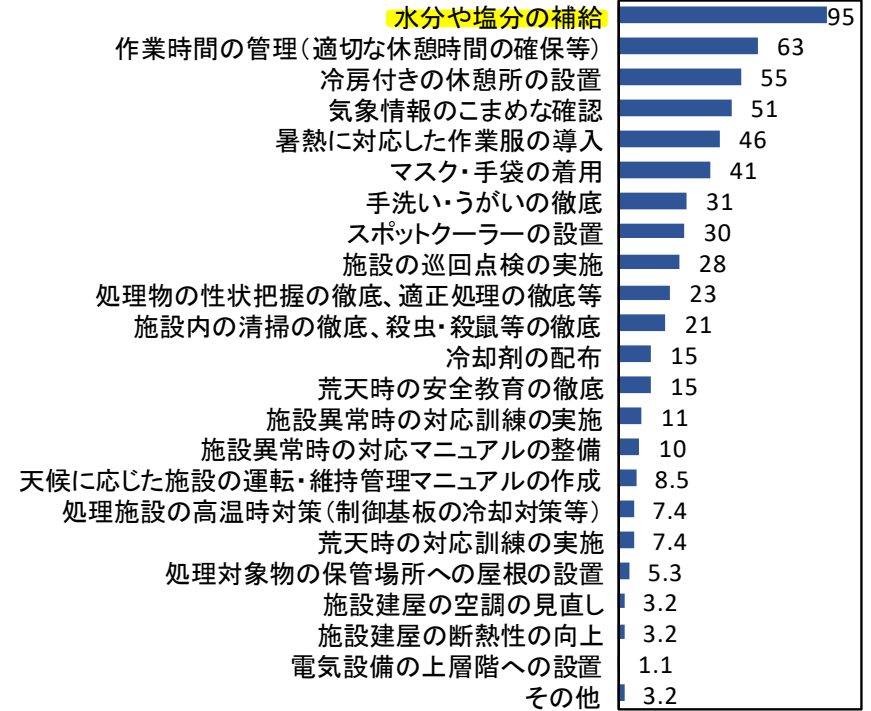
実感し、課題に感じる影響



周辺環境への配慮



講じている適応策



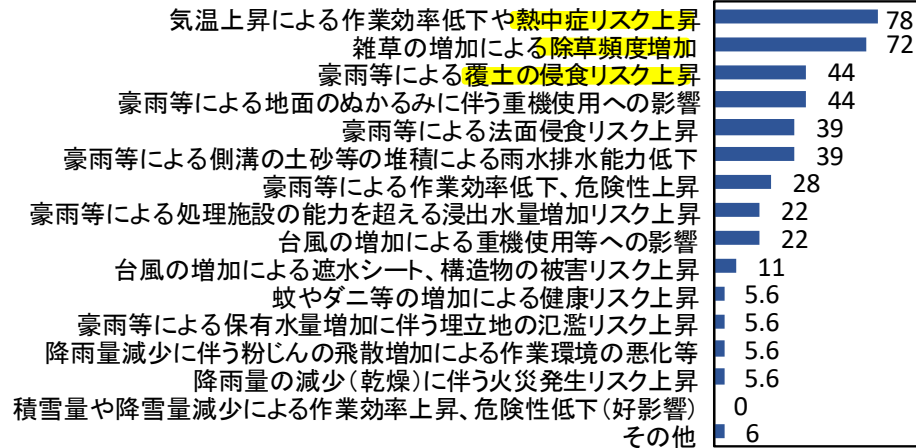
今後実施したい適応策・環境配慮

- ・施設の高温対策(遮熱・断熱の拡大)
- ・冷房付き休憩所の整備
- ・安全に作業できる環境整備
- ・粉じん対策の徹底

アンケート結果（最終処分）

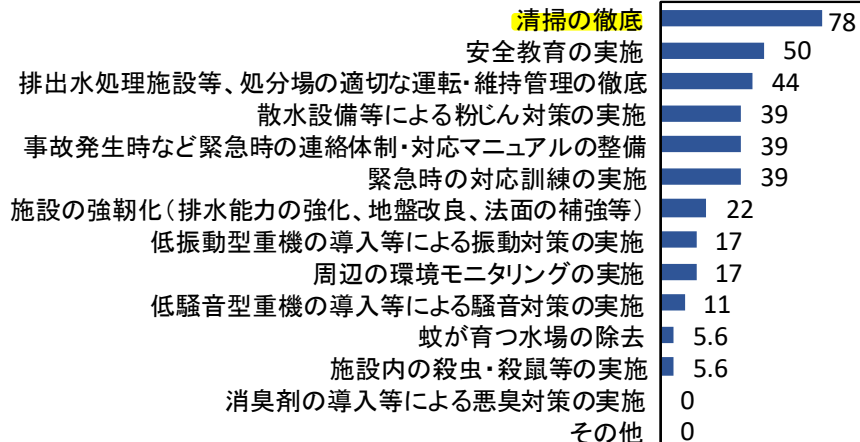
実感し、課題に感じる影響

(%)
0 100



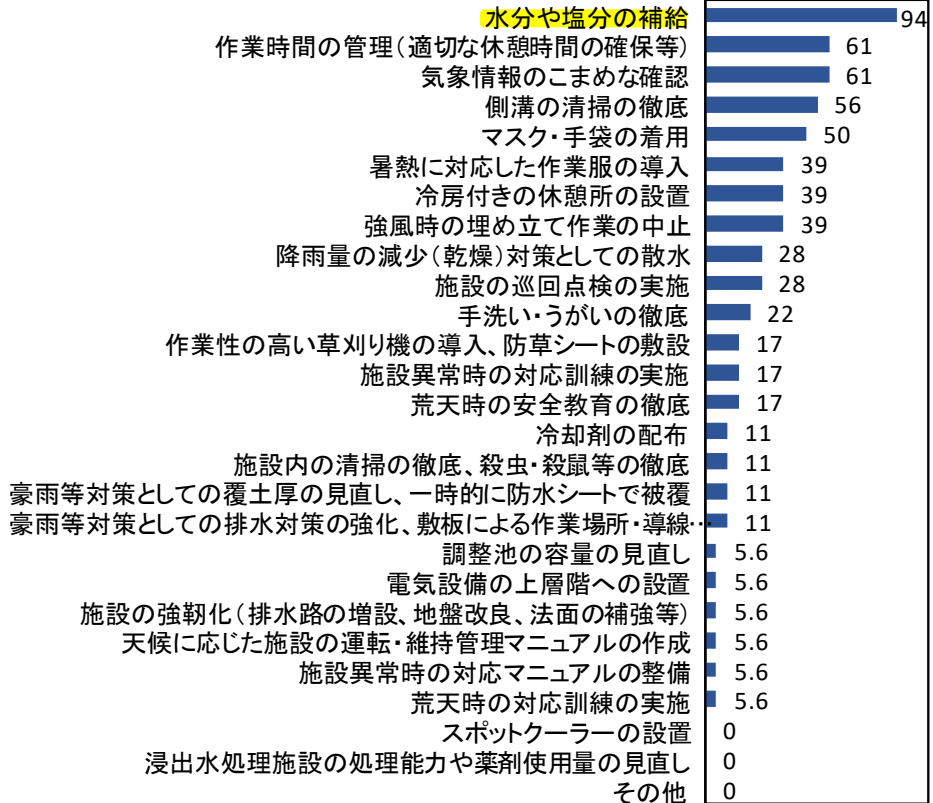
周辺環境への配慮

(%)
0 100



講じている適応策

(%)
0 100



今後実施したい適応策・環境配慮

- ・浸出水処理施設の更新
- ・雷時の対応

ヒアリング結果

ヒアリング先概要

5社: アンケート結果、処理施設の規模、処理対象物等を踏まえて選定

主な設問と回答

どのような業務を行う際に気候変動を実感しているか？

- 大雨や土砂災害により各種交通網に影響があった時
- (最終処分場)浸出水、雨水が急激に増加した時

高温による作業効率低下や熱中症発生の経験は？

- 日中の屋外作業を避ける業務計画により作業効率が落ちている
- (気温上昇が原因とは断定できないが)ここ2年間で熱中症の件数が微増

荒天時の運搬ルートや時間帯の調整・変更は？

- 状況に応じた対応。適宜搬出元と協議・調整、それに合わせた処理施設の運転調整

施設異常時等のマニュアルの内容や訓練の内容・頻度は？

- 台風、火災等の別にマニュアルを整備し、訓練を年1回実施
- 施設(最終処分場)の崩壊を想定した土のうの作成・積み方の訓練、緊急時連絡体制の機能確認

今後必要と考えている、または予定している適応策は？

- 気温上昇による廃棄物の性状変化に対応するための散水設備、屋内保管場所へのクーラーの設置
- 最終処分場の調整池や排水処理施設の増設